

## 平成 23 年度肉用子牛及び肉豚価格安定対策事業について

社団法人岡山県畜産協会 価格安定部

### ○はじめに

最近の畜産を取り巻く環境は配合飼料の高止まり等畜産経営を圧迫している中で福島原発問題が発生し、物流が停滞し生産現場においては過去に経験したことのない誰もが想像できない状態にあります。畜産物価格は各地で乱高下し、消費停滞がおこり先行き不透明な状態が続いております。そうした中、自らの経営自らが担保するという強い意識をもって経営を行うため制度を理解し、各種価格安定制度への加入をお奨めします。

### ○肉用牛繁殖経営支援事業（肉用牛繁殖経営農家の皆さんへ）

この事業は、平成 22 年度に繁殖農家の皆さんの強い要望によりできた事業であり、今年度も継続して実施され内容についてはご存知と思われませんが、次の条件になった場合に支援交付金が受けられます。（積立金は不要）

### 対象品種・発動基準価格

対象品種	黒毛和種	その他の肉専用種
発動基準	38万円	25万円

(税込)

- ・ 肉用子牛生産者補給金制度に係る契約生産者であり、且つ、個体登録が行われ販売又は保留された子牛が対象となります。
- ・ 四半期毎の全国平均売買価格(官報公示)と発動基準価格との差額の 3/4 が支援交付金として直接生産者へ交付されます。

※平成 22 年度交付実績 第 2 四半期 交付頭数 847 頭 交付金額 4,573,800 円

### ○優良繁殖雌牛更新促進事業

この事業は、平成 21 年下期からの継続事業であり今年度が最終年となります。今、優良繁殖雌牛への更新を行えば 1/3 の補助が受けられます。

### ○肉豚価格安定対策事業(養豚経営安定対策事業)

養豚経営安定対策事業「全国肉豚」は今年度より農家戸別所得補償制度の畜産版として、(独)農畜産業振興機構から生産者に補てん金を直接交付する「直接交付方式」へ完全に移行しました。本県においては 9 戸の養豚事業者が事業参加しております。

### ポイント

- 1 業務対象年間は 6 年間です(平成 23～28 年度)新規に養豚経営を開始する生産者以外途中加入ができません。
- 2 租税関連法令が改正された場合、生産者負担金の損金算入が可能になります。但し、基金閉鎖時の無事戻しがないように、生産者負担金を減額する場合があります。

・ 1 頭当たり生産者負担金 1,160 円 (国:580 円 生産者等:580 円)

・ 保証基準価格 460 円(23 年度) 枝肉重量 77k 「大豚含む全頭対象」

### ※平成 22 年度の補てん金交付実績

補てん金交付頭数 63,821 頭

補てん金交付金額 52,747,170 円

以上の事業は、子牛、肉豚に係る価格安定対策であり、全戸全頭の加入を目指しています。

詳細は関係 J A 社団法人岡山県畜産協会へお問い合わせ下さい。